

水産業

全道の漁業生産(H28)は、数量が約86万トン、金額が約2,951億円となっており、そのうち宗谷管内は、数量で約14万トン(全道5位)、金額で約489億円(全道3位)と沿海12(総合)振興局のなかでは上位の水揚げを誇ります。

管内の魚種別では、ホタテガイが数量(約68%)、金額(約55%)ともに1位となっており、以下金額で、サケ、ナマコ、ケガニ、ホッケの順となっています。

管内の主要魚種は海域により大きく異なり、オホーツク海側はホタテガイ、サケ、ケガニ、日本海側はナマコ、コンブ、ホッケとなっています。

資源の持続的な利用を図るため、ケガニの許容漁獲量の設定やホッケの資源回復のための自主規制の取り組みを行っています。また、資源の増大を図るため、サケ、ニシン、ヒラメ等の種苗放流やホッケ、カレイ、ソイ、ミスダコ、コンブ、ウニ等の漁場の整備を推進しているとともに、漁業生産活動の拠点となる漁港(管内33港)については、生産性の向上や就労環境の改善などを目指し、岸壁・防波堤の整備や防風柵の設置を行っています。

離島地域における漁業就業者は急速に減少・高齢化が進んでおり、新規漁業就業者の確保が大きな課題となっています。このため、関係者で組織する地域漁業就業者対策協議会では、「漁業体験研修(漁師道!)」(利尻地域)を実施するなど、地域が一体となった就業者対策に取り組んでいます。

また、若い世代を中心に進行する「魚離れ」の改善を図るため、小中学生を対象とした地域漁業者(宗谷管内漁業士会)による『出前授業』を実施し、魚食文化や水産業に対する知識と理解を深めています。

■宗谷管内漁業士会による平成29年度の『出前授業』の様子



サケの授業の様子
(枝幸町立枝幸南中学校)



ホタテの授業の様子
(北海道立稚内高校)

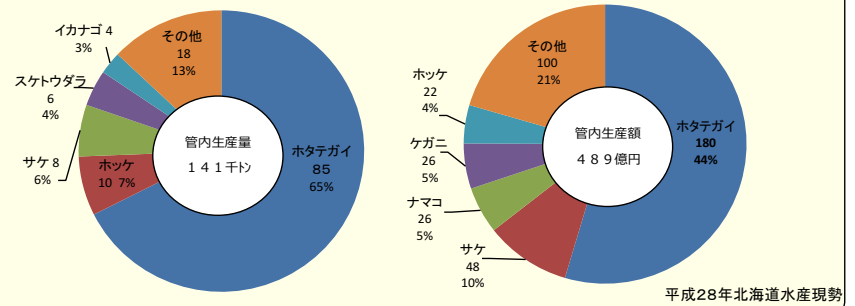


ウニの授業の様子
(礼文町立船泊中学校)

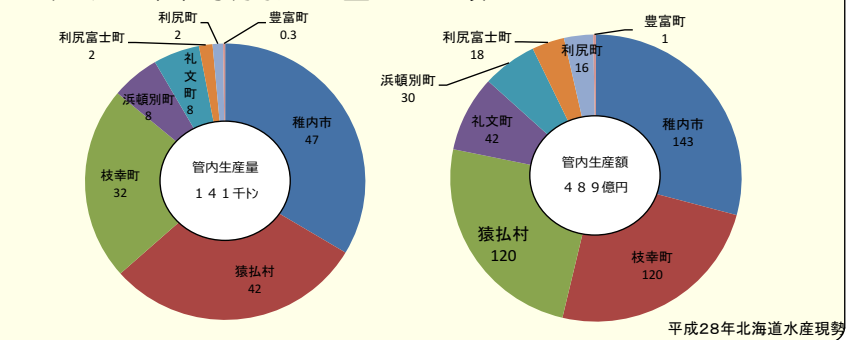
■管内の漁業と全道対比

区分	単位	管内	全道	全道比	資料
漁業生産量	トン	140,567	859,926	16.3%	平成28年北海道水産現勢
漁業生産額	百万円	48,914	295,144	16.6%	平成28年北海道水産現勢
組合員数(准組合員含む)	人	2,094	17,077	12.3%	北海道水産林務部水産経営課(28年度)

■平成28年魚種別生産量・生産額構成比



■平成28年市町村別生産量・生産額



■漁業生産量・生産額の推移

